



## 平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年8月8日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社データホライゾン

コード番号 3628 URL <http://www.dhorizon.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内海 良夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長

(氏名) 内藤 慎一郎

TEL 082-279-5525

四半期報告書提出予定日 平成26年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	338	13.7	△132	—	△129	—	△129	—
26年3月期第1四半期	297	△5.6	△152	—	△149	—	△134	—

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 △129百万円 (—%) 26年3月期第1四半期 △135百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	△37.12	—
26年3月期第1四半期	△38.78	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第1四半期	1,348	724	724	53.3	206.74	
26年3月期	1,671	852	852	50.7	243.87	

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 719百万円 26年3月期 848百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,630	14.2	50	—	50	—	48	—	13.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は売上高・利益ともに下期に偏重する傾向があるため、第2四半期連結累計期間の業績予想の記載を省略しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	3,557,060 株	26年3月期	3,557,060 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	78,851 株	26年3月期	78,851 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	3,478,209 株	26年3月期1Q	3,478,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	1 1
販売の状況	1 1

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、3億38百万円（前年同期比13.7%増）となりました。

損益面におきましては、研究開発費の増加や販売体制強化に伴う人件費の増加などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、医療関連情報サービス事業のうち保険者向け情報サービスにおいて前年同期に比して利益率の高いサービスの売上が増加したため原価率が改善し、営業損失は1億32百万円（前年同期は1億52百万円の営業損失）、経常損失は1億29百万円（前年同期は1億49百万円の経常損失）となりました。また、四半期純損失は繰延税金資産の増加額が前年同期より縮小したため1億29百万円（前年同期は1億34百万円の四半期純損失）と、前年同期に比して5百万円の損失額縮小に留まりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 医療関連情報サービス事業

当第1四半期連結累計期間における医療関連情報サービス事業の売上高は、1億66百万円（前年同期比5.9%増）となり、セグメント損失は縮小し37百万円（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

保険者向け情報サービスの売上高は、前期に引き続き国民健康保険向けの受注が増加し、1億50百万円（前年同期比26.2%増）となりました。

このうち、国民健康保険向けは、東日本地域を中心に受注が拡大し、主に北海道や首都圏で新規保険者獲得や提供サービスの追加などにより売上を伸ばしました。また、西日本地域においても近畿圏や九州での新規受注の拡大により順調に売上を伸ばしております。

一方で、被用者保険向けは、従来から提供しているジェネリック通知サービスの需要は減少傾向にあるものの、レセプトと健診等のデータを活用した保健事業「データヘルス」関連の売上が増加しており、当第1四半期連結累計期間においてもジェネリック通知サービスの減少分を新規に受注した「データヘルス」関連の売上増加分が補い、被用者保険向け全体では売上高が増加しております。

当社は、紙レセプト時代からレセプトを活用した保健事業のためのシステムを開発し提供してきた技術的アドバンテージと、広島県呉市を始めとする「データヘルス」に適合したサービスの提供実績をもとに、積極的な拡販を行っており今後も大幅な売上高増加を目指しています。

その他の医療関連情報サービスは、データベースの提供および保守料や医療関連の受託開発などであり、当第1四半期連結累計期間の売上高は16百万円（前年同期比57.4%減）となりました。

#### ② 医療関連パッケージシステム事業

当第1四半期連結累計期間における医療関連パッケージシステム事業の売上高は、1億71百万円（前年同期比22.6%増）となり、セグメント損失は縮小し29百万円（前年同期は49百万円のセグメント損失）となりました。

保険薬局向けシステムにおいては、前年の下半期に新商品の地域別対応が主要な地域で完了し、当期は期首から全地域での販売を開始しております。4月は薬価改定の影響で他の月と比較して販売量が少なかったものの、売上高は順調に回復しており1億25百万円（前年同期比37.4%増）となりまし

た。

病院向けシステムにおいては、前期に従来より大幅に増加した水準をほぼ維持し、売上高は43百万円(前年同期比5.8%減)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前期末に比べて3億23百万円減少し、13億48百万円となりました。

### (資産)

当第1四半期末の流動資産の残高は、前期末の売掛金の回収により売掛金が5億89百万円減少しましたが、買掛金の支払いおよび納税などにより現金及び預金は2億58百万円の増加にとどまり、前期末に比べて3億14百万円減少しました。

また、固定資産に大きな増減はありません。

この結果、当第1四半期末の資産合計は、前期末に比べて3億23百万円減少し、13億48百万円となりました。

### (負債)

当第1四半期末の流動負債の残高は、買掛金の支払いによる減少1億26百万円や短期借入金の返済による減少20百万円、その他に含まれる未払消費税等の納付による減少などにより前期末に比べて1億88百万円減少しました。

また、固定負債は、長期借入金やリース債務の返済などにより、前期末に比べて6百万円減少しました。

この結果、当第1四半期末の負債合計は、前期末に比べて1億95百万円減少し、6億23百万円となりました。

### (純資産)

当第1四半期末の純資産の残高は、四半期純損失1億29百万円により利益剰余金が減少し、7億24百万円となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成26年5月9日付「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました平成27年3月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

国の方針によりレセプト(診療報酬明細書および調剤報酬明細書)および健康診査データに基づく保健事業をPDC Aサイクルに則って運用するデータヘルスが推進され、保険者に本年度はP l a nにあたるデータヘルス計画が義務付けられています。

当期は、従来のサービスとシステム販売の増加に加え、新たにデータヘルス計画を、ジェネリック通知サービスが中心であった健康保険組合から1割強にあたる150保険者、既に同様のサービスを提供している国民健康保険からも40保険者から追加の受注を目指し、売上高26億30百万円、営業利益50百万円、経常利益50百万円、当期純利益48百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	360,313	618,402
受取手形及び売掛金	785,778	193,122
商品	3,466	8,742
仕掛品	5,883	24,391
原材料及び貯蔵品	12,032	10,901
繰延税金資産	38,144	38,302
その他	44,070	36,743
貸倒引当金	△5,799	△1,541
流動資産合計	1,243,886	929,062
固定資産		
有形固定資産	188,595	184,685
無形固定資産		
ソフトウェア	114,158	109,926
ソフトウェア仮勘定	9,011	10,780
のれん	619	493
その他	792	792
無形固定資産合計	124,580	121,991
投資その他の資産	114,835	112,458
固定資産合計	428,010	419,135
資産合計	1,671,896	1,348,196
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	207,723	81,532
短期借入金	250,000	230,000
1年内返済予定の長期借入金	25,392	23,592
未払法人税等	4,071	911
賞与引当金	44,453	24,202
その他	195,563	178,082
流動負債合計	727,203	538,319
固定負債		
長期借入金	26,990	22,442
退職給付に係る負債	44,798	45,902
その他	20,300	17,030
固定負債合計	92,087	85,375
負債合計	819,290	623,694

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	454,200	454,200
資本剰余金	154,200	154,200
利益剰余金	281,994	152,867
自己株式	△52,516	△52,516
株主資本合計	837,878	708,751
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,800	7,526
為替換算調整勘定	2,560	2,792
その他の包括利益累計額合計	10,359	10,318
新株予約権	3,709	4,946
少数株主持分	659	488
純資産合計	852,606	724,502
負債純資産合計	1,671,896	1,348,196



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	297,239	338,103
売上原価	203,140	201,831
売上総利益	94,100	136,272
販売費及び一般管理費	247,063	269,211
営業損失(△)	△152,963	△132,939
営業外収益		
受取利息	9	4
受取配当金	181	198
為替差益	2	-
貸倒引当金戻入額	3,278	4,258
雑収入	273	444
営業外収益合計	3,744	4,904
営業外費用		
支払利息	681	789
為替差損	-	324
営業外費用合計	681	1,113
経常損失(△)	△149,899	△129,148
特別損失		
固定資産除却損	550	4
特別損失合計	550	4
税金等調整前四半期純損失(△)	△150,449	△129,152
法人税、住民税及び事業税	602	478
法人税等調整額	△15,971	△322
法人税等合計	△15,369	156
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△135,080	△129,308
少数株主損失(△)	△194	△182
四半期純損失(△)	△134,886	△129,127

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	△135,080	△129,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	345	△274
為替換算調整勘定	△449	242
その他の包括利益合計	△103	△32
四半期包括利益	△135,184	△129,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△134,972	△129,168
少数株主に係る四半期包括利益	△212	△172

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	157,630	139,610	297,239	—	297,239
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	157,630	139,610	297,239	—	297,239
セグメント損失(△)	△41,994	△49,138	△91,132	△61,830	△152,963

(注) 1. セグメント損失の調整額△61,830千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療関連 情報サービス 事業	医療関連 パッケージ システム 事業			
売上高					
外部顧客への売上高	166,968	171,136	338,103	—	338,103
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	166,968	171,136	338,103	—	338,103
セグメント損失(△)	△37,299	△29,052	△66,352	△66,588	△132,939

(注) 1. セグメント損失の調整額△66,588千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

4. 補足情報

販売の状況

当第1四半期連結累計期間の販売実績をサービス・製品の区分ごとに示すと、次のとおりであります。

(サービス・製品別売上高)

サービス・製品の名称	前第1四半期連結累計期間		当第1四半期連結累計期間		増 減	
	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日		自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日			
	販売高 (千円)	構成比 (%)	販売高 (千円)	構成比 (%)	金額 (千円)	増減率 (%)
保険者向け情報サービス	119,426	40.2	150,692	44.6	31,266	26.2
その他	38,204	12.8	16,275	4.8	△21,928	△ 57.4
医療関連情報サービス	157,630	53.0	166,968	49.4	9,338	5.9
保険薬局向けシステム	91,264	30.7	125,387	37.1	34,124	37.4
病院向けシステム	46,311	15.6	43,636	12.9	△2,675	△ 5.8
その他	2,035	0.7	2,112	0.6	77	3.8
医療関連パッケージシステム	139,610	47.0	171,136	50.6	31,526	22.6
合計	297,239	100.0	338,103	100.0	40,864	13.7

(注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して記載しております。